



Français 突撃インタビュー

今月のお客さま

ジェンダ・アレクサンドル さん

ニューカレドニアを経て来日 徳島で唯一のフランス人宮大工

今回ご紹介するのは、徳島県で宮大工として働くジェンダ・アレクサンドルさん。徳島の宮大工としては唯一のフランス人として、情熱をもってお仕事をされています。副業として長年過ごしたニューカレドニア産のパニアとはちみつの輸入業も続けているアレクサンドルさんに、フランス人から見た宮大工のお仕事やこれまでの軌跡を伺いました。



一人前になるには 10年かかる

◆なぜ宮大工に？

元々、ニューカレドニアで大工やリフォームのお仕事もしていたし、自然の中で作業するのが好きだったから。でも徳島では僕の大工仕事の写真を見せると「おーすごいわ！」って言うてはくれるけど、それだけ。最初は仕事をもらえなかった。今の宮大工の会社は、紹介してもらって働くことになりました。小さい会社だけど先輩はすごく優しいし、とってもいい会社です。

◆お仕事はどんな感じ？

主にお寺の回廊、濡れ縁、柱などの敷地内周辺を直したり、お寺とは別に木材で机やオブジェを作ったり。だいたい建物のメンテナンスが多いかな。すごく難しい仕事で、一人前になるには10年くらいかかるって先輩は言ってた。宮大工は木材の勉強もしないといけない。木を削るのもどこまで削るかとか、木が気候に慣れているから、徳島の木は徳島の神社や寺にしか使わないとかね。あとは、ノミとかカンナみたいで用具についても勉強しないとイケない。そんなに簡単ではないよ。

◆その知識はどこから？

会社の先輩が直接教えてくれるんです。僕は53歳だけど、宮大工はみんな年上で60～85歳までいる。宮大工は細かい仕事だから、やり直すことがすごく多い。僕達の会社は柔軟な教え方だからいいけど、時々すごい厳しい会社があるから、今の若い人なら逃げるよ（笑）。四国では外国人の宮大工は僕以外には会ったことないな。

◆徳島はどう？

考え方はちょっと古いところもあるけど、場所

はいいよ。山や海があって、僕が前にいたニューカレドニアに似てる。自然が多いしね。日本の都会に住むのは厳しいかな。遊びに行くのはいいんだけど、1週間いるともうダメ。緑が少なすぎてね。

フランスの「怠け者」思考は 苦手!?

◆ニューカレドニアにいた理由は？

僕の親戚は、ニューカレドニアとフランス両方に住んでいて、僕のおじいさんはフランス海軍としてニューカレドニアに行ったんです。僕の出身は南仏のニース。20歳の時、ニューカレドニアの自然が多いところが気に入って、住むことにしたんです。新しい友達もできて、24年くらい過ごしていたんだ。そこで奥さんと会って、結婚して子どもが生まれたんだけど、当時の仕事は面白くなってきたし、僕の人生では新しい刺激が大事だからね、仕事を辞めて、新しくパニアとはちみつの輸出のお仕事を始めたんです。ニューカレドニアのはちみつはすごく特別だし、味は素晴らしい。農薬も使ってないんだ。この日本への輸出の仕事は今でも副業として続けています。

◆なぜ日本へ来たの？

最初は日本とニューカレドニア両方に住みたかったのね。でもコロナ禍になって日本に住むことに決めました。それでよかったと思っているよ。日本は住みやすいんだけど、いつかまた別の場所に住みたい気持ちも残ってるね。

◆日本で暮らすなかで大変なことは？

今は慣れすぎて答えるのが難しいなあ。日本は

働きかたがハードだからヨーロッパ人には合わないと思います。たまに「日本好き」って子もいるけど、働きかたが合わなくて帰る人が多いね。フランス人はいつも楽しい！がいいからね。僕は逆にフランス人の怠け者の考え方がちょっと苦手かも（笑）。仕事で日本人という時は、頭が日本人モードになるんだけど、家族という時は、自分モードになるかな。子育て面ではうちは子どもの寝室を両親と一緒にして日本式で育てたけどあんまり問題なかったね。

◆阿波弁を話せるフランス人は？

徳島に住んでいるフランス人は20人もないと思う。ワーキングホリデーで来る若い子はいらるけど。そのフランス人の8割は学校の先生で、英語でしゃべる。日本語はしゃべれない。その中で阿波弁がしゃべれるのは、僕を入れて2人くらいかな。

◆これからやってみたいことはありますか？

輸出業についてはいろいろ難しい部分もあるけど、続けていきたいと思っています。あとは、宮大工のほうはもっとやりたい！会社の仕事だけでなく、木材から自分のイメージでいろいろ作ってみたい。まだ決まってるけど、頭の中にはもうあるんだ。他にも奥さんと一緒に「世界の旅マルシェ」って食のイベントを開催しているんだけど、徳島人に面白いものを作ったり、大人だけでなく、子どものためのものを作ったりしていきたいな！

Instagram @b.i.onc

(ニューカレドニアのはちみつとパニア)

毎週土曜日あさ9時30分から、テレビ朝日で放送。tv asahi



食材ひとつに、多彩なドラマ。

毎週土曜日に放送中の「食彩の王国」は、身近な「食材」たちが主役。さまざまな食材が織りなす食文化の歴史や産地の風土…。そこに流れる時間をひも解くことで、人と食材のかかわりを探っていきます。

食彩の王国



語り 斎藤九ひろ子

番組ホームページ www.tv-asahi.co.jp/syokusai

【制作】tv asahi テレビマシニオン ViViA) 【企画協力】ビデオプロモーション 提供 TOKYO GAS

マダム愛のわたくし ミュラン

第142回

ゴージャスな場所でお得に便利に ブレックファーストを

パリのど真ん中にあり、シャンゼリゼ通りをルーヴル美術館に向かって行った突き当たりにある、パリで1番有名な広場“コンコルド広場”。庭園とセーヌ川、そして壮大な建物に囲まれ、中心にはオペラハウスが立つその荘厳な雰囲気には誰もが圧倒されます。そんなコンコルド広場をのぞむ建物は、パラスホテルや博物館といった、フランスでも由緒ある場所として利用されているのですが、実はその一角に、雰囲気はゴージャスなのにリーズナブルに朝ごはんが食べられるカフェがあるんですよ。それが「Café Laperouse Concorde」。数年前にOPENしたHotel de la Marineの1階にあるカフェで、入り口はHotel de la Marineとは別にあり、誰もが気軽に利用できます。

一歩カフェに足を踏み入るとそのゴージャスさにため息が。中庭に面したテラス席もおしゃれ。こんな場所といったおいくら!?と緊張

してしまいそうですが、この雰囲気、そして場所にしてはかなりコスパが良いのですよ。そんな中でも一番のおすすめが朝ごはん。フルセットが29ユーロ〜という、この辺りではかなりリーズナブル。隣のパラスホテルで朝ごはんをしたらその3〜4倍はします。その内容は、卵料理にヨーグルトやフルーツ、ピエノワズリーに飲み物という、王道ではありますが朝ごはんなのでそれで十分。お味も特に特別!というわけでは正直ないですが、場所と雰囲気を考えると、それだけで特別な朝になること間違いありません。ここで朝ごはんを済ませてから観光すると、その日がきっと特別な日になりますよ。

- A. ゴージャスな内装で、ここにいるだけでパリの雰囲気100%味わえます。
- B. 中庭に面したテラス席は、荘厳な建物に囲まれていて非日常な時間を過ごせます。
- C. ホットドリンク、コールドドリンク、ヨーグルト、フルーツ、卵料理、パンの王道朝食。
- D. 卵料理は目玉焼きやオムレツなどから選べます。

writer マダム愛

東京で知り合った仏人男性に連れ去られ、気が付けばパリジェンヌとやたらに。パリのレストランと生活、2つのブログを書いています。

blog マダム愛の徒然パリ日記

<http://www.paris777.blog.fc2.com/>

blog マダム愛のアパートの鍵貸します

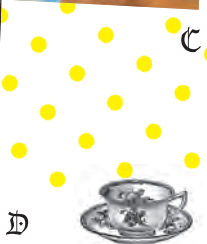
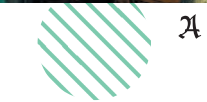
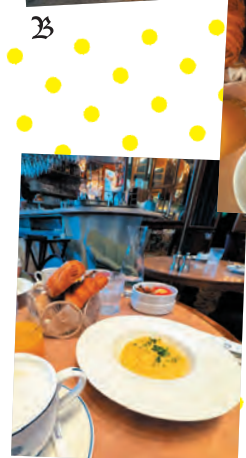
<https://www.madameai.com/>

今月のパート

料理 ♥♥♥♥♥♥
ドリンク ♥♥♥♥♥♥
サービス ♥♥♥♥♥♥
雰囲気 ♥♥♥♥♥♥
コスパ ♥♥♥♥♥♥

— Café Laperouse Concorde —

2 Place de la Concorde 75001
01 53 93 65 53
<https://cafe-laperouse.com>



編集部のおすすめ Vin ワイン編

11 月と言えば、毎年第3木曜日はボジョレー・ヌーヴォーの解禁日!

ボジョレー・ヌーヴォーとは、フランスブルゴーニュ地方最南端のボジョレー地区でできる新酒のことで、ヌーヴォーは「新しい」という意味。タンニンが少なく、フルーティーで飲みやすいのが特徴のワインです。

今回はボジョレーも含めた普段使いのおすすめワインをワインコンサルタントの香織さん(Latitude K. K)にお聞きしました!

1 ル・シャ・ボジョレ・ヴィラージュ・ヌーヴォー 2025年

瑞々しくジューシーで、果実味のある軽快な赤ワイン。リュット・レゾネ(極力自然に近い栽培を行う)を実施する自然派です。



2 ヴァン・デ・シャボニエール・ピノ・ノワール パケ・モンタニャック 2023年

フレッシュな果実味と適度なコクのある、軽めの赤ワイン。野菜料理やシーフードの料理など幅広く合わせることができます。繊細な味わいで和食にもよく合います。同名の白ワインもあり、そちらはしなやかな酸味と果実味、コクのある奥深い味わいのワインとなっています。



3 千支ワイン(馬/年) レ・ドゥーザニモ 2019年 フランス ボルドー

華やかな果実味と凝縮味のあるバランスの良い赤ワイン。千支がデザインされたトリプルゴールドメダル受賞の縁起かつぎボルドーワインです。和・洋食共に合わせやすく、1年を通して楽しむことができるワインです。



4 マリア・ド・カサル・アルバリーニョ マニエル・コスタ・エ・フィリョス 2023年 ポルトガル

若々しいフレッシュな味わいの白ワインはシーフードにも相性ぴったり。普段の食事にもバーベキューやキャンプにも活躍するお手頃な1本です。



ワインショップソムリエ
<https://wsommelier.com/>



アテネ・フランセ

フランス物産展 2025
MARCHÉ DE NOËL

12/13
土
11:00-17:00

アテネ・フランセ
地下1階学生ホールにて
今年も開催!

とびこめ! ミュゼのとびら

今更聞けないフレンチアート

今に残る貴族文化の象徴
門外不出の作品に会える場所

フランス・オワーズ県、シャンティイ城内にあるコンデ美術館。このお城は17世紀、国王よりブルボン家の支流コンデ家に与えられ、最後の当主ルイ6世アンリの代までコンデ家が所有していました。

革命初期の1789年、彼はドイツに亡命。当時亡命貴族の財産は国家に没収されるという法律により、シャンティイ城も一時国有化され、破壊の対象となり、主要な建物は崩壊。かつての壮麗な大殿堂は跡形もなくなりました。

1814年復古王政で国王になったルイ18世の補佐のため帰国、城も返還されるものの、ルイ6世アンリには嫡子がおらず、その莫大な遺産は、遠縁で同じくブルボン家の支流オルレアン

Musée Condé
コンデ美術館 (シャンティイ城内)
Condé

家のオマール公に継承されます。

オマール公は荒れ果てた城の再建に着手します。城の再建は大掛かりで莫大な費用がかかります。それでもオマール公がそうしたかった理由には、**名門ブルボン=コンデ家を甦らせる家系的な責任、フランス貴族文化の象徴である城の建築的遺産の継承、そして個人的な情熱がありました。**

軍人、政治家でありながら、歴史家、美術品の熱心なコレクターでもあったオマール公は再建した城内に美術館と図書館も設置。その美術館が現在のコンデ美術館です。彼は生前、この城をフランス学士院 (Institut de France) へ条件付きで寄贈します。フランス学士院は国家機関でありながら中立の立場をとっており、政治的に安定しない国家よりも信用できたのでしょう。寄贈条件の中に、蔵書も絵画も一切持ち出ししてはならない、



展示物の配置もできる限り現状でとあり、そのため、今日まで19世紀当時の貴族空間が保たれています。ここで紹介した、「バリー公のいと豪華なる時祷書」もこの美術館に収蔵されています。

彼の遺言にこうあります。「私がフランスのために集めたものがフランスに残り続けるように」。

writer 妹尾優子

仏語教師の傍、仏文学朗読ラジオ「Lecture de l'après-midi」の構成とナレーションを担当。美術史 & 日本史ラブ。日仏の文学からアートまで深掘りする日々。

HP <https://note.com/tabichajikan/m/md750819c9bc7>



仏人添乗員リラの

日本リラ散歩



中古の言語教材
ショッピング

新しい言語に挑戦

人生で2回目K-POPIにハマってからまもなく1年が経過。その間ライブ3回、イベント5回ほど楽しんだ後、ついに本場、韓国現地の公演に参戦することになった！去年の今頃の自分には想像できなかった状況だ。しかも今回は約9年ぶりの、2回目の韓国旅行になる。1回目は、言語が分からなかったが今回は韓国語が少し読めるようになった！ちょっと前の記事で、10代後半にK-POPIにハマっていた頃と比べて日本語ができるようになったおかげで様々なコンテンツを楽しめるようになった話をしたが、その感覚をもう一度味わいたくて、最近韓国語に挑戦することにした。外国語が徐々に分かるようになるのって、すごい達成感を感じるよね。いつかK-POPIに興味がなくなったとしても、韓国語を身につけることには損はないし、久しぶりに新しい言語に触れるのも脳活になるし、いいことばかり。昔一度勉強しようと思ったけど続かず、そのまま放置。今は文法や言葉、言語

の構造が似ている日本語という土台があるおかげで、ゼロから初めてもだいぶ理解しやすい状態になった。母国語のフランス語での教材を通らずに直接日本語から学んだ方が早く、分かりやすいので、日本語が理解できてよかった。そう言いながらもまだまだ始めたばかりの超初心者で、果たしてモチベーションがいつまで続くかが難点。

これを書いている時点で数日後に韓国へ出発するけど、フランス以外で久しぶりの海外旅行で緊張とわくわく感が混ざっている。言語が理解できていなくても、旅行は楽しんでいこうと思います！



writer リラ

東京で翻訳者としても活躍する30歳のフランス人女子。持続可能な社会の実現に向けての活動もする。趣味は編み物とベランダの植物の世話。

トモクンの

アレコレ、パリコレ、ナンゾコレ〜

新任デザイナーの大洪水！
2026春夏パリコレクションは判断の難しいシーズンに

9 月末から行われたパリ、2026年春夏コレクション。新任デザイナーによる初コレクションが押し寄せて来ました。マチュール・ブレイジーによるシャネル、ジョナサン・アンダーソンによるディオール、ジャック・マッコローとラザロ・ヘルナンデスによるロエベ、ピエールパオロ・ピッチョーリによるバレンシアガ、グレン・マーティンスによるメゾン・マルジェラ、デュラン・ランティンクによるジャン・ポール・ゴルチエ、キム・ベッカーによるイザベル・マラン。計7組。中でも、大胆な刷新をしたのがシャネルとディオールでした。

会場に入ると、グラン・パレの大空間が宇宙になっていたシャネル(写真)。きっと近未来的

でスペイシーな内容に違いはないと思ったら、エッジーでモダンな内容でした。いわゆるラブリーなシャネル像とは距離を置いた、落ち着いた大人の女性の世界。これはこれで需要がありそうですが、CCマークの割合が少ないので、それが吉と出るか凶と出るかは神のみぞ知る。

ディオールは、フェミニンなブランドイメージを保ちつつも、やはりジョナサン・アンダーソンのやることだから、アーティスティックでエッジーになっていました。これまでの顧客にとってはハードルが上がったかもしれません。でも、これまたフタを開けてみないことには、広く受け入れられるか否かは全くわからない。

デュラン・ランティンクによるジャン・ポール・ゴルチエでは、毛むくじらの男性の全裸プリントのオールインワンとか、臀部丸出しのスカートとか、本家のジャン・ポール・ゴルチエでさえも躊躇しそうなアイテムが登場。招待されていたジャン・ポール・ゴルチエ本人は、ショー後に感動のためか大号泣。謎過ぎます。そんなこんなで、来年1月末頃の販売がスタート

しない限り、新コレクションの一般的な評価は定まらないでしょうね。そもそも、パリコレのような高級ブランドファッション自体が一般的なものとなりつつあるため、新コレクションは誰も気にも留めないか…。



writer トモクン

トモクンという名の45歳。在仏27年。ファッションジャーナリスト(業歴17年)は仮の姿で、本当はただの廃品回収業(業歴5年)。詳しくはブログ『友くんのパリ蚤の市散歩』にて。

blog 友くんのパリ蚤の市散歩
<http://tomos.exblog.jp>



第20回

アメリカの京都？サウスカロライナ州 チャールストンでER体験

三 連休。ニューヨークは雨予報でどこかに行くという天啓では？というように解釈して、近場で小旅行を計画し、候補に挙がったのはチャールストン。全く知らない街。チャールストンは「アメリカ人が選ぶ旅行先No. 1」に何度も選ばれる人気の観光地で、南北戦争始まりの地ということで南部の歴史的な街並みが残り、ご飯がとにかく美味しいという。東海岸でサウスカロライナ州にあり、ニューヨークからは飛行機で1時間半。近い！レッツゴー！

持ち前の強運で、アメリカ東海岸に強烈な低気圧が発生していた。飛行機が揺れる揺れる。小型機だから余計揺れる。何とか着陸し、立ち上がった時に、あれ？右目の視界に墨汁垂らしたような濁りが……これ、5月にやった網膜裂孔？レーザーで焼かないと網膜剥離になるかも!?とはいえず、今は土曜日夜。病院もやってないし、一人で行くには英語力が乏しすぎる……ホテルの部屋に座った後、右目の墨汁の量が激増していることに気づく。もはや、右目は向こう側が全く見えない。

朝イチで近所のERに若旦那に電話してもらい、家族でサウスカロライナ医大へ。チャールストン観光、一つ目。緊張した雰囲気のある部屋に通されオレンジのトロピカルジュース柄の靴下と伊勢丹チェックのコートの私は完全に場違い。1時間ほど待つと、オーランド・ブルーム似のお兄さん先生が「お待ちせ！」と登場。でかいリュック背負っ

てパーカー着て、明らかに私のせいで家から呼び出されているオーランド先生。ごめんなさい。

眼科に移動し、さあレーザーどんとこい、と覚悟していたのだけ検査検査。私の右目にレンズを当てて、あらゆる方向から光を当ててみられているのだけど、先生の掌が鼻の先にずっと接近しているの途中からにおいが気になってきた。

オーランド・ブルームの掌は、きっとこんな香りなのね……。念のため超音波の検査をしたい、と言われ、瞼の上から大量のジェルを塗って機器を当てられ、iPhone接続で写真を撮っている。「網膜は綺麗。念のためもっと網膜に詳しい先生を呼んでから待ってね」私のせいで呼び出される人間が二人に。この時点で4時間経過。「待たせてごめんね！スナック好きなだけ食べていいよ！」オーランドは子どもにも優しい。

1時間後やってきた少し年配のおじさん先生は、ハアハア言いながらドアを開けて「ごめんね！お休みの日なのに待たせてしまって！」私のせいで呼び出されたのにこちらもいい人。ごめんなさい。結局同じ検査をされて、「網膜に問題はなさそう。目の中の硝子体に出血が起きていて、はっきり出血元はわからないけどニューヨークでいつもの先生に見てもらってね」網膜がはがれてないのを喜ぶべきなんだろうけど。「かなり出血しててレアケースだね。衝撃を与えたわけでもないし、アンラッキーだね。」レアケースアンラッキーが5ヶ月ごとに起きているんです先生！本当にレアですか！薬が出るわけでもなく、レーザーもなく5時間問診で何もできず手ごたえがないけれど「今から観光楽しんでね！」サウスカロライナ医大の人々はみな親切であった。なんならサウスカロライナ医大のお土産を買いたかったです。

writer 吉野亜衣子

ラジオ局を辞め、夫の留学についてパリへ。帰国後、日仏文化交流のための NOISSETTE を設立。2022 年で設立 10 周年。2024 年春より NY 在住。

HP <https://note.com/noisettepress>

podcast <https://podcasters.spotify.com/pod/show/cafenoisette>

検査検査……▼



▲その後、プランテーション農場見学へ。

スマホも大画面テレビもアプリをダウンロードするだけ フランスで日本のテレビ

BS 50ch
1週間無料体験

アプリをダウンロードして簡単登録で即時視聴

- 地上・BS・CS50局ライブTV
- 過去4週間番組の見直し視聴
- 週間ランキングVOD500本
- 過去4週間番組の予約録画可
- スマホからテレビ画面に転送可
- TV端末契約でスマホ視聴無料

年間契約 TVDongle 無料

モバイル USD 199.9/年 テレビ+モバイル USD 239.9/年 月当たり USD 16.6

サポートメール [日本人受付] admin@kaitekitv.com サポートページ <https://kaitekitv-support.com>

編集後記

秋の台北で小籠包、ミスト・モスバーガー（どちらもベトナムにない）を味わってきました！美味！観光客にアラフィフ日本女性が多いのは何故？私もそこにはっきり紛れてきました！（編集Y）

編集後記

ルーヴル美術館に強盗？セーヌ川沿い2階の窓から貨物用のリフトで侵入、ナポレオン1世の妻などの宝飾品を盗み、スクーターで逃走!? ル、ルパン？子供の頃、怪盗ルパンに熱中したけど……。ちょっと嘘みたいなの本当のニュース。(AD. F)

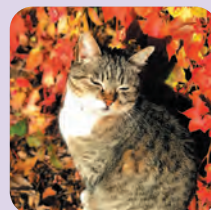
パリに暮らす猫パリーちゃん・リリちゃんと
ゴキゲン指揮者キョーリのほのぼの生活

パリーちゃん通信



Tant pis pour eux ! (彼らはお気の毒様!)

秋 のフランスグルメと言えば栗♡とにかく栗が大好きな私は、秋になると有名なパティシエさんのモンブランを食べ比べては悦に入ります。そして日本の栗ご飯！が、しかし！この素晴らしい日本の味をフランス人にも味わってもらおうと幾度となく振る舞ったのですが、大概のフランス人はイマイチな反応。日本通の友人達でさえあまり喜ばないのです！初めて夫に栗ご飯を作った際、「わあ！」と言いながらほぼ残された時は怒りさえ覚えました。彼ら曰く「炭水化物のお米と栗を一緒に食べるのに慣れていない」らしいです。フランス人と栗ご飯の喜びを分かち合う夢を捨てた私は今年も一人で日本の秋の味覚を楽しむのであります！ Tant pis pour eux!



リリちゃんのお庭も紅葉が綺麗です♡

writer 押田杏里

日仏混合アマチュア合唱団「バリア・ブリコ合唱団」を主宰する指揮者。パリで猫のリリちゃんと旦那様と「今を生きる」をモットーに暮らしています。

Instagram @abricotp



本当に話せる力を
ここで



フランス語会話学校
エコールサンパ

03-3337-7933 / info@ecolesympa.com

表参道・阿佐ヶ谷・自由ヶ丘・オンライン

Noisette Press

À bientôt!

発行元: ノアゼット東京オフィス
<http://www.noisette-press.net/>
編集発行人: 吉野 亜衣子 編集: 小橋 桜子
アートディレクション: 藤原 結花(yap)